

— 新任紹介 —



小学校 校長
東田 充司

就任のご挨拶

山桜会の皆様には、平素より多大なるご理解とご支援を賜りまして、有難うございます。

4月より校長を拝命いたしました。伝統と栄光ある追手門学院小学校の第21代校長に就かせていただく重責に身の引き締まる思いです。大阪偕行社附属小学校より脈々と流れる建学の精神を忘れることなく、進取の精神を常に取り入れ、教職員が一致団結して追手門学院小学校のさらなる発展の為に、微力ながら持てる全力を尽くします。

「ゆるぎない追手門教育の練達」を指針に、高い志を持った、輝く追手門の子を育成します。『すべては子どもたちのために』これが教職員の合言葉です。限りない愛情を持って子どもたちを育てます。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

母校の発展のために

今年度4月より教頭職を拝命致しました。124年の伝統の重みと重責に応えられるよう、また、東田校長のサポートができるように、日々精進していきたいと思っております。

5月25日(金)に、本校を会場として、西日本私立小学校連合会の研修会を行いました。当日は、約千名の先生方が集まり、我々は2年生以上の全学級(20クラス)の授業を公開しました。日頃の研究、研鑽の成果と、子供たちの礼儀正しく、且つ生き生きとした学習活動や生活の様子を見ていただきたく、準備に万全を期し、この研修会に臨みました。結果、西日本の先生方から、賞賛のお言葉を沢山頂戴しました。

このように、小学校は西日本一、いや、日本一を目指して努力しておりますので、山桜会の皆様には、今後、母校の発展のために、益々のご協力とご支援をよろしくお願い致します。



小学校 教頭
杉田 圭一



中・高等学校(茨木)教頭
一貫連携教育機構副機構長
荒木 貴之

着任に際しまして

伝統ある追手門学院に奉職し、昨年度は理事長室にて幼稚園から大学までの一貫連携教育の推進に係る業務にかかわらせていただき、サイエンス教育や国際教育の取り組みを通しまして、学院ブランディングの更なる向上を図ってまいりました。この4月からは、追手門学院中・高等学校の中高一貫(六貫)教頭、ならびに、新たに学院に創設されました一貫連携教育推進機構副機構長を拝命いたしました。本校の「スポーツコース」の設置、大手前高校の「追手門コース」の設置、「こども園」の開設、幼・小・両中高による「上海使節団」の派遣など、学院創立130周年、さらには、その先の未来を見据えた学院全体の取り組みを今後展開してまいります。「オール追手門」の更なる前進のため、山桜会の皆様には、どうぞ御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

異動のご挨拶

4月より、25年間勤めた茨木中高から、大手前中高へ異動となりました。茨木でお世話になりました皆様へ感謝申し上げますとともに、大手前の地でも精一杯務めさせていただく覚悟ですので、よろしくお願いいたします。

さて、茨木・大手前の両高校では多くの新生を迎えることができましたが、中学入試では厳しい状況が続いています。高校入試についても今後の状況を考えたとき、全く楽観的に構えてはいられません。今後は両中高の総力を結集して教育活動に当たり、学院理念の「独立自強・社会有為」の人財育成をさらに推し進めていくことが課題になります。

原田校長が掲げられた、「授業中心主義」と「組織の構築」という今年度の重点目標を常に意識しながら、大手前の先生方とともにより良い学校を築いてまいります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



大手前中・高等学校 中学教頭
木内 淳詞